2025 年 3 月 31 日

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

大阪・関西万博「PASONA NATUREVERSE パビリオン」に協賛、株式会社パソナグループと包括業務提携

～ 持続可能な未来社会の創造に向けた共創プロジェクト～

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：荒木直也、以下 H2O）は、株式会社パソナグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ代表：南部靖之）が 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に出展する「PASONA NATUREVERSE パビリオン」の理念に共感し、協賛することを決定しました。また、両社はこれを機に 3 月 20 日に包括業務提携を締結し、多様な分野での共創を目指します。

1. 本提携の目的と理由

H2O は、パソナグループが「NATUREVERSE」に込めている Well-being な社会、誰もが心豊かにイキイキと活躍する社会づくりに共感し、今回の協賛に至りました。これは、当社のグループビジョン「『楽しい』『うれしい』『おいしい』の価値創造を通じ、お客さまの心を豊かにする暮らしの元気パートナー」と、地域社会の健全で持続的な発展を目指すサステナビリティ経営方針に通ずるものです。

2. 本提携の内容

パソナグループの重点成長戦略領域と当社の長期事業構想における重点領域が重なることから、包括業務提携を行い、以下の分野で共創を目指します。

① 人材育成・働き方改革
　海外顧客対応人材の育成・成長支援
　人材交流（コラボレーション研修など）やフロンティア人材の育成

② 大阪・関西万博における連携
　淡路島における体験コンテンツと阪急うめだ本店との連携による相互送客
　その他 NATUREVERSE パートナー協賛仕様に準拠した内容

③ 国内外富裕層向け観光・ツーリズムコンテンツ開発
　体験型コンテンツ開発による関西インバウンドビジネスの活性化
　大阪 IR を見据えた関西グローバル化推進

④ 地域活性化ノウハウ蓄積
　関西の「食」領域におけるネットワーク化とコーディネートによる事業化の研究と実践
　子どもたちの未来を育む、成長を応援する機会の創出　など

⑤ ロボティクス・アバターワーク社会実装研究
　生活空間での人協調ロボティクスの円滑な導入・活用・メンテサービスの社会実装における連携
　アバターワークの研究（リモート接客、外出困難者や被災地など雇用創出）　など

⑥ サステナビリティ推進
　地域共創型の環境保全活動、ダイバーシティ＆インクルージョン推進
　多様性と持続性ある食のライフスタイル提案

3. 今後の取り組み

2025 年 4 月より両社でワーキンググループを設置し、共創に向けた具体的な取り組みを検討します。また、ワーキンググループは、若手・中堅社員を中心とした構成とし、両社の人材育成の場としても活用します。

H2O とパソナグループは、これらの取り組みを推進することで、大阪・関西万博以降につながる人材レガシーの創出を目指し、関西地域の活性化に貢献してまいります。今後、両社での取り組みについては、具体的にまとまり次第発表させていただく予定です。

※H2O グループの大阪・関西万博での取り組みは、添付資料をご参照ください

本件に関する報道関係者のお問い合わせ
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

参考資料

1. 大阪・関西万博におけるエイチ・ツー・オー リテイリンググループのコミットメント

H2Oグループは、大阪・関西万博を関西地域とともに成長し、未来を創造する絶好の機会と捉えています。長年、関西地域のお客さまに支えられてきた私たちだからこそ、地域への貢献は私たちの使命です。大阪・関西万博を単なる一過性のイベントとして終わらせるのではなく、その先の未来を見据え、地域社会とともに「いのち輝く未来社会」を創造したいと考えています。

そのために、当社グループでは「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーとして、地域社会との連携を深め、サステナビリティ経営方針に掲げる「地域の絆」「地域の子どもたち」「地域の豊かな自然」をテーマにした取り組みを推進いたします。 当社グループは、長年、関西地域を中心に事業を展開し、そして地域に育てられてきました。大阪・関西万博を通した多様な取り組みを通して会期終了後も引き継がれるソフトレガシーを当社グループ内はもちろん、連携する自治体・企業・NPO とも一体となり創出し、地域と未来をつないでいきたいと考えています。

私たちは、地域社会の一員として、大阪・関西万博の成功に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向けて、これからも積極的に取り組んでまいります。

2. 大阪・関西万博における当社グループの取り組み

当社では、サステナビリティ経営方針に掲げる「地域の絆」「地域の子どもたち」「地域の豊かな自然」をテーマにした取り組みを推進いたします。

① 「地域の絆を深める」

グループ会社のエイチ・ツー・オー商業開発では、会期中、大阪・関西万博会場内にて「フードトラック」を出店し、大阪産(もん)食材を一部に使用したさまざまなメニューで、国内外から来場される方々に日本食の美味しさや日本文化の魅力を発信します。

② 「地域の子どもたちを育む」

当社およびグループ会社の阪急阪神百貨店では、未来社会ショーケース事業出展「ジュニア SDGs キャンプ」に協賛・参加し、次世代を担う子どもたちに環境保全の重要性をさまざまな体験を通して伝え、持続可能な社会の実現に向けた人材育成を目指します。

③ 「豊かな地域の自然を守り引き継ぐ」

当社では、大阪府内の森の循環を促進する「想うベンチ」プロジェクトに「運営参加サプライヤー」として参画しています。「Co-Design Challenge プログラム」にも採択された本プロジェクトでは、大阪産木材を使用したベンチを大阪・関西万博会場に設置し、来場者に憩いの場を提供、会期終了後は大阪府下の地域にベンチを引き継いでいく予定です。また、当社グループ従業員が「EXPO グリーンチャレンジ」に参加し、脱炭素行動を積極的に推進することで、地域社会の環境負荷低減に貢献してまいります。

さらに、阪急阪神百貨店では、高い情報発信力を生かし、「PR サプライヤー」として、大阪・関西万博における広報・プロモーションに協力するほか、会期中海外から来店される方々に人・環境・サービス・情報におけるインフラを整備することを通して地域の魅力を高めることに寄与いたします。

これらの活動を通じて、大阪・関西万博の成功に貢献するとともに、会期終了後も継続的に地域社会に貢献できるソフトレガシーの創出を目指してまいります。

なお、当社の具体的な取り組みについては、こちらのページに順次掲載していく予定です。

URL：https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/sustainability/expo2025